

第3次岐阜県地域医療再生計画  
(平成24年度補正予算)  
<概要版>

平成25年8月  
岐阜県

# 現行計画(第1次・第2次)の全体像と第3次計画の考え方 【岐阜県】

目標： 第1次および第2次計画の取り組みに、在宅医療を中心とした第3次計画を加え、  
重層的に“県民の健康・生命を守る”地域医療の体制を強化し、“県民の安全・安心”をさらに推進



## 第3次地域医療再生計画の構成【岐阜県】

総計 12. 5億円

### I 在宅医療体制の構築

8. 2億円

- (1)多職種連携による在宅医療提供体制の整備
- (2)在宅医療の相談体制の充実
- (3)在宅医療を支える人材育成の推進
- (4)がんに対する在宅医療体制の整備
- (5)障がい児者等に対する在宅医療体制の充実



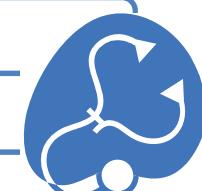
### II 医療人材確保対策の推進

2. 8億円

### III 災害医療体制の充実

0. 4億円

- (1)被ばく医療体制の充実
- (2)その他災害医療対策の充実



### IV 救急医療対策の推進

1. 1億円

# 第3次地域医療再生計画の骨子 1 【岐阜県】

## I 在宅医療体制の構築

### (1) 多職種連携による在宅医療提供体制の整備

- ・遠隔診療を取り入れた在宅医療提供体制の構築
- ・市町村・地域医師会を中心とした地域在宅医療連携体制の推進
- ・NICU、GCUに入院する小児患者の在宅医療への移行支援
- ・診療情報共有ネットワークの構築
- ・機能強化型在宅療養支援診療所(有床)の支援
- ・医療・介護(福祉)が連携した地域包括ケアシステムの構築
- ・認知症疾患医療センターを各地域の治療の拠点として継続設置

#### 【数値目標】

- 在宅療養支援診療所 197か所 → 212か所
- 在宅療養支援病院 6か所 → 8か所
- 在宅看取り率 16.8% → 20.0%
- 退院支援担当者配置診療所 4か所 → 8か所
- 退院支援担当者配置病院 35か所 → 40か所
- 基幹型認知症疾患医療センターの新規設置

### (2) 在宅医療の相談体制の充実

- ・介護従事者や住民等への在宅医療支援に関する相談窓口の設置

#### 【数値目標】

- 訪問看護(医療)利用件数 3,781件 → 6,000件
- 訪問看護(介護)利用件数 9,000件 → 13,500件

### (3) 在宅医療を支える人材育成の推進

- ・訪問看護職員の新規雇用、育成の促進
- ・在宅歯科医療を行う歯科医師、歯科衛生士の能力向上
- ・在宅医療へ参加する薬剤師の育成の推進
- ・地域における認知症対策を推進する認知症連携指導医の養成
- ・介護・医療の専門職の連携推進

#### 【数値目標】

- 訪問看護事業所職員数 321名 → 684名
- 在宅歯科医療を担う歯科医師・歯科衛生士 50名養成
- 在宅医療に参加する薬局数 62か所 → 124か所
- 認知症サポート医 48名 → 63名
- 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所数 6か所 → 12か所

### (4) がんに対する在宅医療体制の整備

- ・質の高いがんの在宅緩和ケアを実践できる人材の育成と  
関係機関の連携強化
- ・がん情報センターの継続運営
- ・がん診療連携拠点病院の取組強化

#### 【数値目標】

- 専門的スキルを持つ看護師 90名養成
- 在宅緩和ケアコーディネーター 3名設置
- 地域がん登録におけるDCO割合 23.9% → 14.6%
- 5大がんに係る地域連携クリティカルパスの新規運用件数 380件

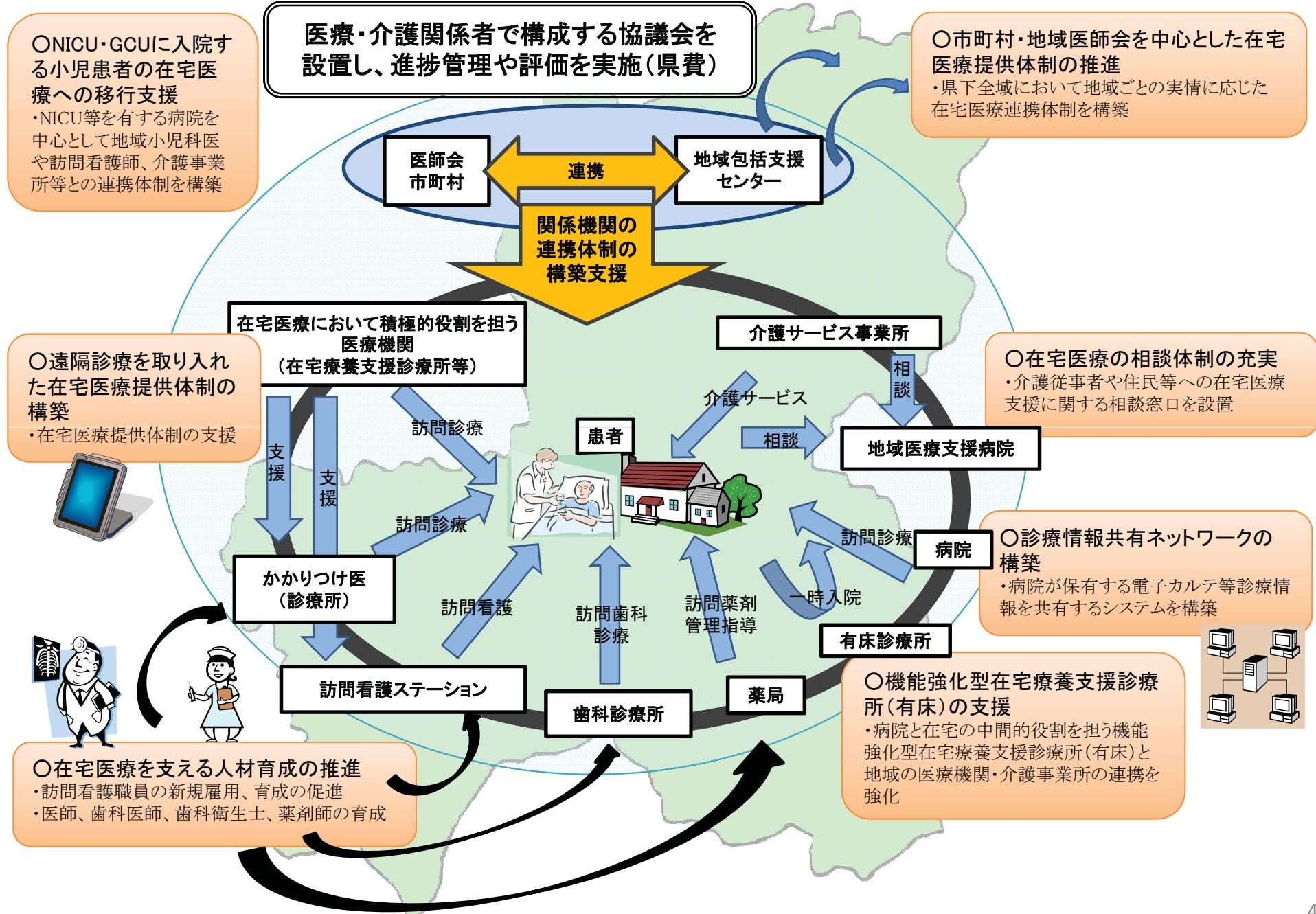
### (5) 障がい児者等に対する在宅医療体制の充実

- ・発達障がい専門外来の確保
- ・重症心身障がい児者等短期入所施設への運営及び設備整備等支援
- ・重症心身障がい児者等及び発達障がい児者支援従事者の養成

#### 【数値目標】

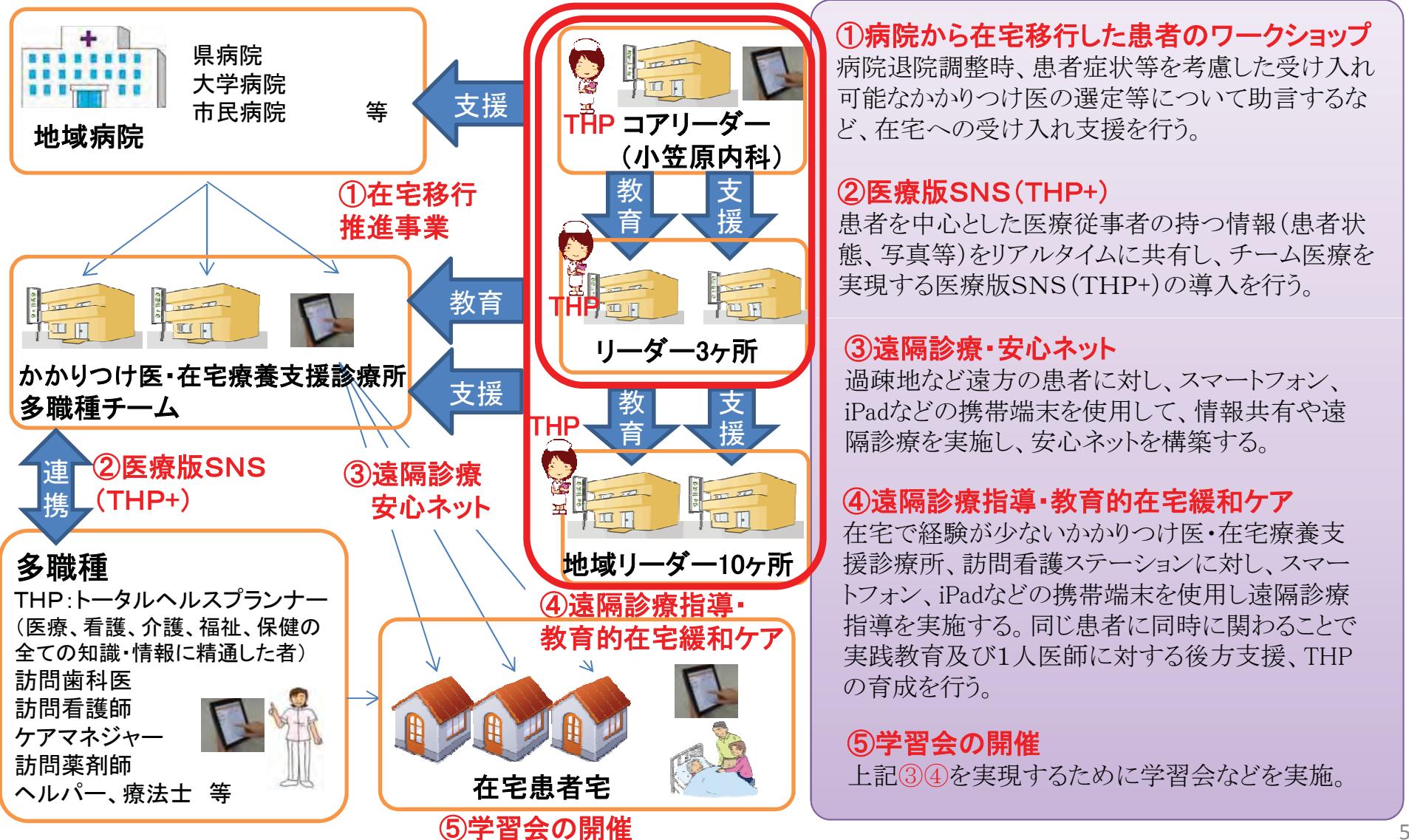
- 発達障がい専門医療機関を各圏域に確保
- 指定短期入所事業所数 38か所 → 46か所

# 在宅医療体制の構築 【岐阜県】



# 遠隔診療利用型在宅医療モデル事業【岐阜県】

平成24年度在宅医療連携拠点事業での実績をもとに、県内全域への展開を図る。これを実現するため、病院から在宅移行した患者のワークショップや遠隔診療・安心ネットの実施、小笠原内科による遠隔診療指導、教育的在宅緩和ケアなどを実施する。



# 第3次地域医療再生計画の骨子 2 【岐阜県】

## II 医療人材確保対策の推進

- ・岐阜県医師育成・確保コンソーシアム(岐阜県における地域医療支援センター)と一体的に運用する医学生修学資金貸付制度の継続実施
- ・市町村が主体的に行う寄附講座など地域医療確保対策への拡充・継続支援
- ・女性医師確保のための就労支援
- ・医師確保のための広報活動や就業啓発活動の拡充・継続実施

### 【数値目標】

- 人口10万人あたりの医師数 189.0人 → 210.0人
- 医学生修学資金受給医師の県内医療機関従事者数 37人→125人
- 寄附講座数 3講座 → 5講座

## III 災害医療体制の充実

### (1)被ばく医療体制の充実

- ・原子力災害対策のための救護所への設備整備支援
- ・被ばく医療に関する医療従事者への研修

### 【数値目標】

- 被ばく医療対策救護所用資機材整備 5か所分
- 被ばく医療研修及び訓練参加者 500人

### (2)その他災害医療対策の充実

- ・災害医療連携体制の促進
- ・災害医療コーディネート体制の構築の継続

### 【数値目標】

- 災害医療訓練の実施参加者 150人
- 県本部及び各地域での研修、訓練等の開催 年1回以上

## IV 救急医療対策の推進

- ・ドクターヘリ運航の継続支援
- ・病院前救護体制の強化

### 【数値目標】

- ドクターヘリの県内全圏域への出動、年間出動件数 400件
- 救急救命士の救急車への搭乗率 100%
- 一般市民により心肺停止の時点が目撃された心原性の心肺停止症例の1ヶ月後生存率 10.3% → 11.4%
- 一般市民により心肺停止の時点が目撃された心原性の心肺停止症例の1ヶ月後社会復帰率 6.8% → 7.2%